

2023年1月19日

腹痛を訴え救急外来受診した患者のトリアージ時の Pain scale と緊急入院率、手術率の
関連について

◆研究の目的と概要◆

当院では、救急外来に腹痛を主訴として受診した患者さん（救急車以外の方法（自家用車、公共交通機関、徒歩などご自身）で当院を受診された患者さん）のトリアージ（患者さんの緊急度を評価し診療の優先順位を決定する）時の Pain scale（患者さんが感じておられる痛みの程度を数値化したもの）とこれらの患者さんの緊急入院率、緊急手術率を調査しています。本研究では、腹痛患者さんの正確なトリアージを行うためのデータ収集し、今後のよりよい診療につなげることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年11月から、2022年10月までの間に、腹痛を主訴に救急外来を救急車以外の方法（自家用車、公共交通機関、徒歩など）で受診された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、救急外来における診断名、トリアージレベル、トリアージ時の Pain scale、バイタルサイン、救急外来における転帰、緊急手術の要否

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

救急科 研究責任者 市川 元啓

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明